

## 土田地区懇談会での主な意見と回答

日 時 平成30年12月1日（土）午後7時～午後8時30分

場 所 土田地区センター

出席者 27人

●市長による「可児市のじまんとほこり」の講話・質疑応答のあと、事前に提出された質問へ回答しました。

### ・講話に関する質疑応答

【質問】市長の考える土田のじまんは何か

【回答】土田はいろいろあるなかでも、木曾川はすばらしい景観があって、化石、鳩吹山、希少な動植物、可児川、土田城もあります。そういったものをよく知っている人がご存命のうちに、できるだけ機会を持って集めて、第2弾としてかのにのじまんとほこりの土田版を作ってほしいと、連絡所長に指示をしています。

【意見】個人的には、小学生も入れて自慢を一緒に探してほしい。他の市町村へ行ったときに子どもがお城の紹介をしてくれるところがあったが、小学生が自慢の語り部になるようなかたちの学習などで、大人になったときの自身の自慢にもなる。

【回答】広見が広見版を作ろうと動いています。ぜひ土田も負けないように作ってください。こどもたちが中心というのも非常にいいですね。市も相談してやっていきたいと思います。KYBや大王製紙のような工場があるということも歴史的には新しいですが、自慢だと思います。

【意見】土田小学校へ行くと外国籍の子どもが非常に多い。4人に1人が外国籍のこどもということもひとつの特徴で、うまくいけば良いことだと思う。ただ正直言って、もう少し人の手当てをしてもらえると格好も良いし、地域にとっても良い。今までの状態とは変わってきていて、バラ教室などもあり住みよいという口コミで来る人もいると聞いたことがある。みんなが集まってきたなら指導員を増やすなど手当てをしてほしい。

【回答】可児市は全国でも最も手厚くしているまちではありますが、土田の人には苦勞をおかけして申し訳ないです。以前は外国籍はブラジルを中心にみえましたが、出稼ぎで数年したら帰っていらしたので、日本語や日本のルールを覚えることはなかったです。同じ外国籍の人に住んでもらうなら、国籍は日本ではないけれど、日本人のつもりでずっと住んでもらうようにしないと、住んでいる人も気の毒だし、近くに住む我々にとっても不幸です。どうすればいいかとなると、子どもを育てている人たちに来てもらう、そのためには外国籍の子育て支援をしっかりとすることです。可児市は子どもが育てやすいと噂があって、移り住んできているのは間違いありません。

国が新しい形で外国籍を入れようとしています。来た人も元からいる人も不幸になるのはよくないです。受けるのは自治体になります。そして今までは国の支援がほとんどなく全部自分たちの税金でした。今後大幅に変えるならばぜひ自治体に対する支援もしっかりしてもらって、仕組みやルールをしっかりとくらないとダメだと思っています。そういうルールを踏まえたうえで、財源も支援していただいて、せっかく来てくれた外国籍の子、そしてそれを受け入れている地域の皆さんが、お互いハッピーになれる政策をしなければいけないと思っています。それができるまでの間、現場の先生たちの声をしっかりと聞いて、この地域が特色あるかたちになっていくとよいと思います。

フレビアでは、本当に良い子たちが社会に出ようとしています。小さいころに可児に来てずっと育ててきた外国籍の子は、ペーパー上の国籍と自分の心の中の国籍のふたつありますが、違和感を持っていません。彼らは日本人だと思ってくれてくれるし、なんとかここで頑張っていこうとする子が結構います。そういう育て方をするのが、これから外国籍がどんどん来る、日本の一つのかたちになる、ある意味良いモデルになる、それをこの地域がなりうる、と思っていますので、まだ不備なところはありますが、一生懸命がんばっていきたくたいです。

【意見】小学5年生の娘がいて、先ほどの話を伺って思い当たることかふたつあった。ひとつは夏過ぎに帰宅してきていきなり可児市は湖だったと言ってきた。何のことか分からなかったが、今日ようやくそれが分かった。1ヶ月前には可児に前方後円墳があると教えてくれたので、調べて長塚古墳を見に行ってきた。戦国時代の話などもしてきて、とても歴史は長いが500年後、1,000年後どうなるのか、そのときに今がどういわれるのか、あなたは何をするのかという話をしている。

今の小学5年生の、特にブラジル人のお子さんは、ブラジルに行ったことがない、生まれ育ちが可児っこで、ポルトガル語は話すが読めない。ほぼ日本語だけで生活していて子どもたちは楽しくしているが、母親世代のほうに壁があり、馴染めていない感じはしていると思う。

【回答】歴史の勉強はなにも年号を覚えることではなくて、繋がりや自分が今いることの意味を感じ取ること、起きている事に疑問を持ってそれを探るとても楽しいことだと、ぜひご家庭でも話していただきたいです。

国籍はブラジルだけどポルトガル語が読めない、母国語が話せない外国籍の子が可児に増えています。親のほうは寂しいので、母国語を教えてほしいと言われます。フレビアでボランティアで母国語を教えるクラスもできていますが、子どもたちは日本語で考えているので、親が母国語で話しても理解できずけんかの元になる、そんな新しい問題も起きています。

・事前質問に対する回答

【質問】土田渡多目的広場の進捗状況について

- ①平成31年4月供用開始の計画だったが、現状の見通しについて
- ②どのような設備（施設）を配置されるか、またそれらの運用イメージは
- ③広場に隣接している木曽川左岸遊歩道は、木曽川の増水時に冠水し、そのたびにボランティアが復旧にあっている。この広場が同じように冠水被害を受ける可能性はあるか
- ④多目的広場の名称について、公募してはどうか

【回答】

①平成27年度より、多目的広場とアクセス道路の同時完成を目指し、事業を進めています。公園部分の進捗状況は約2/3の66%ほど、進入路460mのうち約100mが今年度末完成見込みで、今年度3月いっぱい供用開始とお話させていただいておりましたが、現状は難しいです。

原因としましては、国の補助金をいただいて事業を行っていますが、なかなか満額いただけない状況、用地買収の公園部分は皆様のご協力を得て完了しておりますが、道路部分は住宅等もあってまだ手当てができていないため、現在は平成32年度末（平成33年3月）に皆さんに利用していただく目標で事業をすすめていただいております。ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

②スライドと併せて説明

＜施設整備、運用イメージについて＞

3つのエリアの東・中央・西という配置になっています。

東エリアは多目的グラウンドが主体のエリアです。土を固めてほこりを抑え、グラウンドゴルフやサッカーなど、楽しんでいただけるエリアです。

外周には8mの防球ネットでの対策をしています。

中央エリアは複合遊具、大型遊具を2基設けます。休憩施設（東屋）、か

まどベンチ、トイレを整備します。多目的広場のは災害時の防災拠点としての位置づけもあり、充電池の付いた照明灯、防災トイレを整備します。

西エリアには、多目的に利用できる芝生広場や、屋外ステージ、園路沿いに健康遊具を設けて健康づくりのスペースとして活用いただきたいと思います。

#### <運用イメージについて>

誰でも利用できるオープンスペースを有する公園として整備するもので、貸し出し業務がないため、常駐する管理人等を置く予定はありません。

トイレなどの清掃等業務は別途委託する予定です。

施設を独占して利用したい場合は、事前に申請書を提出し、許可を得る必要があります。

駐車場スペースについては普通車 80 台、障害者 4 台、バスなど大型 7 台の予定です。

③本年は全国的に雨が多く、豪雨の被害がありました。木曽川のこの区域においても氾濫注意水位 5.5m が 4 月、7 月、9 月、10 月の 4 回ありました。7 月の豪雨のときには最高 8m の水位になりました。左岸遊歩道を管理してみえる皆様にはその復旧にご尽力いただきありがとうございました。

(冠水状況をスライドで説明)

多目的広場の地盤は、木曽川の堤防と同等以上の高さに設定しているので、水位が堤防を越えない限り、越水による冠水被害を受けることはありません。

この地域の木曽川は昭和 58 年 9 月の洪水に対して、土田地域は大変な被害がありました。新丸山ダムと合わせて、58 年と同じ程度の雨が降ったとしても、安全に流すことができるような対策がなされることになっています。

新丸山ダムは 2029 年度完成予定です。新丸山ダムの効果により、水位を 3.8 メートル下げることが可能ですので、1 日も早い完成を待ち望んでいるところです。

遊歩道は河川の中にあるという性質上、水に浸かることは避けられません。市としても地域や友の会の皆さんと協議させていただきながら、少しでも被害を減らす工夫をしており、復旧時に同じように土を盛るのではなく、少しセメントを混ぜて固めるようなことを実験的にしております。また状況を見ながら広げていくことも考えていきます。

④今後公募も含め皆様のご意見を承りながらすすめていきたいと思っております。

【質問】市長、この件について補足はあるか

【回答】この整備はかなりお金もかかり、可児市としては思い切った計画です。理由は3つあります。以前澤野議長が要望にみえるということで、ここの歴史を調べました。その結果、58年豪雨のときにこの場所をお借りして復旧がはかどったが、それがそのままになっているということでした。お百姓さんの協力で農地を提供していただいたのに、ご迷惑をかけっぱなしになっていることが分かって、58年当時のご協力に対してお返しできる方法はないかと考えたのがひとつです。

ふたつ目は、私も子どもの頃から楽しんだ自然のあるここで、ゲームやスマホではなくおもいきり遊べる安全な場所を造らなければいけないと思ったことです。尾木ママが何度も言っていたのは、子どもたちが自然の中で遊ぶことは、危険ですが思ってもみないことが起き、そのときにどう対応するかが子どもの成長にとってはとても大切で、今それがなくなることが大きな問題になっているということです。年を取ると体が硬直化して吐嗟に対応できないという、ロコモティブシンドロームに小中学生がなりつつあって、それをなんとかするためには、安全に自然の中で遊ぶ必要があります。子どものときそういう遊びをした人はアルツハイマーにならないという結果が出ているというお話を聞いて、地域のみなさんはもちろん、都会の子どもたちがここへ来て、山や川で思い切り遊ぶことで、今の子どもたちが抱える課題を少しでも解決する場所に使ってもらいたいというのがあります。

そんな中で少し地域にお金落ちる。例えば子どもを預かって竹を使った遊びや、川での遊びの場として、地域のみなさんが有料で面倒をみるとか、散策している人に地域でできた野菜を売るようなことはできないかとか、地域のみなさんは売ってもいいが、他の業者はだめというような委託ができれば、整備していくにはお金がかかるので、それを資金にしてもらえ、地域のみなさんの健康づくりにもなると思い、議会にも説明して了解をいただき、これらの3つの願いを持って投資することにしました。国の補助金があるのにそれをもらわないといけないし市の財政も楽ではないので、進捗にはほかのどうしてもやらなくてはいけないこともあるため、予定より遅れています。大きな期待をいただいているだけに申し訳ないですが、なんとか進めていきたいです。この事業を通じて、新しいかたちで子どもたちに貢献できる地域にしたいです。

#### ・その他の意見

【意見】地区センターの運営協議会で活発な意見が出ている。地区センターの事業は中だけではなく、鳩吹山で森の幼稚園をやったらどうかとか、とうのう病院や企業を含めた、地区でいろんな交流を図っていきたいなどの意見がでて、まさにそれが地区センターの役割だと思う。地区センターのあり方として、住民が活発な活動が出来る場として活用していただきたいと思っている。地区セ

ンターが飲み物や食べ物がOKだということだけではなくて、外でもできるようなことも市でもご指導いただきたい。

【回答】まさに地区のセンターとして思うように使っていただきたいです。将来的に運営そのものを自治会に外部委託してやってもらうような形にしてもいいと思いますが、どんどん使っていただいてこそ地区センターですので、アイデアがありましたら一緒になって一生懸命考えたいと思います。皆さんこんなに市内各地区 14 箇所に大きなセンターがあるところには他にはないです。これが将来すごい財政負担になるのです。けれども、造ってあるなら財政負担してもいいなと思うくらい使ってもらえないと意味がないので、まずはいろんな縛りをなくして使いやすいようにしたのが地区センターのはじまりです。外へという話は全く思いつかなかったですが、大変素晴らしいと思います。3年前に、今可児にある学校や公民館を作り直すのにいくらかかるか調べたら、今ある貯金で 300 億円足りませんでした。使わないと意味がないので、ぜひアイデアを出してください。